



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

人生の三つの坂 「まさか」は、「なんだ坂」「こんな坂」で乗り切れ!!

校長 新井 敬二郎

この言葉、結婚式の定番です。主賓のあいさつの中で、「新郎新婦、これから二人でいつも三つの袋を大切にしながら長い人生における三つの坂に注意してください。」「三つの袋とは、胃袋(健康管理)、堪忍袋(お互いに我慢して相手を思いやる心)、そしてお袋(親孝行)です。三つの坂とは上り坂、下り坂、そしてまさかです。」 為になるいいお話でしょう。誰でも上り坂や調子のいい時には、これはずっと続く、さらにもっと良くなると思うものです。でもそんな時にこそ、ひたひたと既に下り坂とまさかが忍び寄ってきているのです。

みなさんにもそんな経験がありませんか。3年生が部活動を引退し、さあよいよ自分たちの代、目いっぱい気合を入れて頑張ろうと思っていた矢先に怪我をする。バッティング絶好調!! 練習試合では、いくらでも点が取れると思っていたら公式戦ではサッパリ打てなくなる。いきなりの下り坂にまさか(魔坂)が忍び寄っていたのです。でもそんな時は、山本よしきさんの右の短文を思い出してください。「まさか」は、歯を食いしばって「なんだ坂 こんな坂」に変えて乗り切るんだ。下り坂だって、廻れ右をすれば上り坂に変わる、まさしくピンチはチャンスになるのです。怪我をしたら少しの休養と思えばよい。神様は少し休みなさいって言ってくれたんだと。まったく打てないなら、バントやエンドランを強化し、ノーヒットでも点を取れるように、チーム方針を変えるチャンスなんです。自分のチームにサーブ・レシーブミスが多いのなら、サーブを徹底的に練習してサーブで点を稼ぐチームに変身させればよいのです。

さあ、長い夏休みに入ります。何度も言いましたが、小規模校は、部員数が少なくピンチかも知れませんが、でもそれだけ一人ひとりが大切にされ、一人ひとりの出番が多く、1年生の時から期待されているのです。一人ひとりに大きなチャンスが回ってきているのです。こんなに恵まれているみなさんは幸せ者です。あとはみなさんの気持ち次第、心がけ次第です。

《ピンチはチャンス 第2弾》

人生には上り坂と 下り坂と 「まさか」の坂がある。

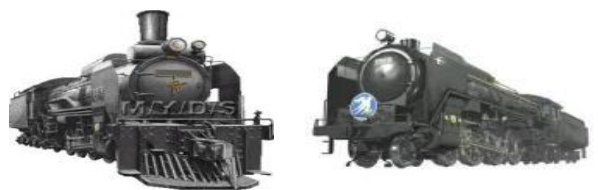
そのまさか(魔坂)の時 どう振舞うかで その人の未来が決まる。

どうすればいいか それは「まさか」を 「なんだ坂」と「こんな坂」の2つの坂に変えるんだ。

そうすると まさかを乗り切れる。

ええっ、「下り坂」は 廻れ右すれば「上り坂」になる。 目の位置を変えれると ピンチはチャンス

(山本よしき)



童謡「汽車ぼっぼ」では、なんだ坂 こんな坂 なんだ坂 こんな坂とんねる鉄橋ぼっぼぼっぼ♪と歌われていました。

7月13日(日)は大久保中学校の開校記念日です。満68歳を迎えました。

本校は、戦後間もない昭和22年に大久保村立大久保中学校として開校し、大久保小学校の校舎を一部転用して授業を始めました。当時は、全校生徒で140人程度だったそうです。その後時は流れ、今年が68年目、卒業生徒数も1万人を超え、まさしく伝統ある「地域の学校」となりました。みなさんもこの一人として伝統の重みを感じ、さらに発展させていきましょう。

大久保地区小・中一貫教育目指す児童生徒像 「ふるさとを愛し 志高く生きる 心優しい大久保の子ども」

